

AI 学習準備ガイド: あらゆる Databricks 認定資格に対応



普段お使いの AI ツールで、あらゆる **Databricks** 試験に対応。

普段お使いの AI チャットボット (**ChatGPT**、**Claude**、**Copilot**、**Genie Code**、**Gemini**) は、うまく活用すれば、あらゆる **Databricks** 認定資格の心強い学習パートナーになります。本ガイドでは、その AI をパーソナルな家庭教師に変える方法を紹介します。公式の試験ガイドを読み込ませ、AI が示しがちな古い回答を見抜き、自分の弱点を見つけ、そのすべてを、あらゆる **Databricks** 試験で求められる実践演習と組み合わせます。

注意: 本ガイドを使用しても、いずれの **Databricks** 認定資格試験でも合格点が保証されるわけではありません。

AI ツールは、**Databricks** 製品について不正確な情報を生成することがあります。必ず、公式の試験ガイドと docs.databricks.com を照らし合わせて確認してください。本ガイドは活用いただけましたか? 使ってみた感想をお寄せください → [フィードバックを送信](#)

ステップ 1 — 準備

必要なもの:

- 登録済みの試験日 — 目標とする期限に向けて取り組めるよう、webassessor.com/databricks で予約します (ステップ 6 を参照)。
- 試験ガイドの PDF — databricks.com の [認定資格ページ](#) からダウンロードします。試験の 2 週間前に再度確認し、最新版であることを確かめてください。
- LLM — ChatGPT、Claude、Copilot、Genie Code、Gemini など、アクセスできるその他のツールでもかまいません。主要なチャットボットであれば、無料プランで十分です。
- **Databricks アカウント** — [Free Edition または Trial](#)。ほとんどの試験では、読むだけでは合格できません。実践演習が必要です。
- **Databricks Academy** — オンデマンドのコースと、すべての認定資格に対応した学習パスを備えた、公式の無料学習プラットフォームです。登録は academy.databricks.com から行います。
- 学習ノート — Google Doc、Notion、またはプレーンテキストファイル。弱点や馴染みのない用語を記録していきます。

ステップ 2 — AI に前提を与える (試験ガイドの PDF をアップロードし、以降は毎回このプロンプトを貼り付けます)

私は、添付した試験ガイドに記載された **Databricks** 認定資格の取得に向けて学習しています。教える際は、現行の **Databricks** 製品名と動作のみを使用し、ガイドに記載されていない目標を作り出さないでください。教える内容はすべて、公式の **Databricks** 情報源 (docs.databricks.com および **Databricks Academy**) に基づいてください。サードパーティのブログ、チュートリアル、フォーラムの投稿は使用しないでください。ウェブを参照できる場合は、docs.databricks.com を検索し、重要な

主張ごとにドキュメントページの URL を引用してください。ある主張を公式ドキュメントで確認できない場合、またはそもそもウェブを参照できない場合は、推測せずにその旨を明確に伝え、私自身が確認すべきドキュメントの箇所を示してください。PDF のアップロードを受け付けられない場合は、その旨を伝えてください。その場合は、ガイドの「Sections and Objectives」をテキストとして貼り付けます。

ステップ 3 – 試験の「名称変更された製品」の落とし穴を見つける(5 分、最初に一度だけ実施)

主要な AI はいずれも、最近の **Databricks Platform** の変更より前に学習されているため、古い製品名を自信たっぷりに使用し、廃止されたワークフローを現行のものとして説明します。

学習を始める前に、次のプロンプトを実行してください：

添付した試験ガイドの中で、過去 2 年以内に名称が変更された *Databricks* 製品名、または名称変更の有無が不確かなものをすべて挙げてください。それぞれについて、誤って使う可能性のある古い名称、現在の名称、そしてその機能を説明する 1 文を教えてください。名称が変更されたかどうか確信が持てない場合は、その旨を伝えてください。私が公式の *Databricks* ドキュメント(docs.databricks.com)で確認します。

生成された表を学習ノートに保存し、毎回のセッションの冒頭で AI に貼り付けてください。これにより、AI を使った学習で最も多い失敗パターンを防げます。

ステップ 4 – この 5 ステップのループを、セクションごとに 1 つずつ実行する

試験ガイドの各セクションについて、次のプロンプトを順番に AI に貼り付けてください：

ステップ	プロンプト(貼り付けて、角かっこ内を入力)
1. 全体像の把握	「共有した試験ガイドの [SECTION] にある目標について、平易な言葉で概要を教えてください。各目標につき 1 文でお願いします。」
2. 弱点の診断	「[SECTION] について、実際の Databricks 認定資格試験のスタイルで、多肢選択問題を 10 問出題してください。私が回答するまで答えは表示しないでください。」
3. 深掘り	「[SPECIFIC OBJECTIVE I MISSED, COPY-PASTED VERBATIM FROM THE EXAM GUIDE] について教えてください。情報源としては、公式の Databricks ドキュメント(docs.databricks.com)と Databricks Academy の教材のみを使用し、サードパーティのブログやフォーラムは使用しないでください。ウェブを参照できる場合は、主張ごとに正確なドキュメントページの URL を引用してください。公式ドキュメントで確認できない場合は、推測せずにその旨を伝えてください。次の内容を含めてください：中心となる概念、Databricks 上での仕組み、代替手段と比べていつ使うべきか、よくある間違い、実行できるコード例を 1 つ。」

4. 実践	「試験ガイドで指定された採点対象の問題数に一致する完全な模擬試験を作成してください。問題は、ガイドが示す割合に従って各目標に配分してください。私がすべての回答を送信するまで、答えは公開しないでください。」
5. 復習と修正	「間違えた問題は次のとおりです:[PASTE]。それぞれについて、私の誤解を説明し、正解がなぜ正しいのかを説明し、同じ概念を別の角度から問う関連問題を出してください。」

ステップ 5 — 最低限の実践演習 (重要)

ほとんどすべての Databricks 認定資格は、単なる知識の暗記だけでなく、実践的なスキルを評価します。

自分専用の実践チェックリストを作成するには、次のプロンプトを使用してください：

「共有した試験ガイドの構成に基づいて、この試験を受ける前に流暢にこなせるようにしておくべき実践タスクを 6～10 個挙げてください。それぞれについて、1 文の説明と、対応する試験の目標を示してください。各タスクは、*Databricks Free Edition* またはフリートライアルで 30 分以内に完了できる程度の小ささに保ってください。」

そして、各項目を実際に Databricks ワークスペースで構築してみてください。完了できなかったタスクが、次に学習すべき対象です。

ステップ 6 — 推奨ペース (自分のスケジュールに合わせて調整)

試験日： _____

試験日から逆算して、2 週間単位のスプリントで計画します。例：試験まで残り 6 週間なら、各行にスプリントを 1 つ。時間に余裕がある場合は、中央の行に追加のスプリントを充てます。

学習期間の序盤	すべてのセクションを診断します。最も弱い 2～3 個を特定します。
中盤	弱点となっている目標を深掘りします。実践的なラボを構築します。
終盤	AI が生成する完全な模擬試験 (ステップ 4 参照) を使って、弱点をあぶり出し、持久力を養います。これらは、精密に調整された準備状況の指標ではありません。本当の目安は、試験ガイドの目標をすべて網羅していることと、実践面での自信です。

すべてに取り組む時間がありますか？ 優先すべき 5 つのポイントを簡潔に紹介します。

- 毎回のセッションで、試験ガイドと名称変更した製品の表を AI に読み込ませて前提を与えます。
- 学習の前に診断します。すでに理解している内容に時間を無駄づかいしないようにします。
- すべてのコードスニペットを実行し、詳細を docs.databricks.com で確認します。AI にはドキュメントの URL を引用するよう求めてください。リンクがない場合は、推測している証拠です。

- 重要なトピックは、2 つ目の AI で相互確認します。回答が食い違う場合は、ドキュメントを確認すべきサインです。
- 実践タスクのリストを実際に構築します。読むだけでは、どの Databricks 認定資格にも合格できません。